

「これからの緑の取組 [2019-2023]」(素案) について

平成 31 年度以降の緑の取組を「これからの緑の取組 [2019-2023]」(素案) として取りまとめましたのでご報告します。

1 「これからの緑の取組 [2019-2023]」の特徴

- ・ 現計画の理念や目標像、基本的な枠組みや主な取組は継承
 - ・ これまでの取組の成果や課題、市民意識調査の結果、全国都市緑化よこはまフェアの開催による緑や花への関心の高まりなどを反映
- (1) 近年の新規指定実績などを踏まえ、樹林地の新規指定目標は 300ha とし、緑の 10 大拠点内の樹林地や身近なまとまりのある樹林地の指定を推進
(現計画の新規指定目標 : 500ha/ 5 年)
- (2) 樹林地を所有する方が、できるだけ樹林地として持ち続けられるよう、維持管理の負担を軽減するための支援を拡充
- (3) 老朽化した桜の街路樹などの地域で愛されている並木の再生を新たに実施
- (4) 全国都市緑化よこはまフェアの成果を継承し、都心臨海部や郊外部の里山ガーデンなどにおいて緑や花による魅力ある空間づくりを進めるとともに、緑や花に関わる市民の盛り上げりを醸成する、地域に根差した各区での取組などを新たに実施

2 「これからの緑の取組 [2019-2023]」の体系と主な内容

[資料 5 2](#) [資料 5 3](#) [資料 5 4](#)

3 「これからの緑の取組 [2019-2023]」の総事業費 約 5 百億円